

倉敷美しい森 湿地保全活動

倉敷市曾原にある、「倉敷美しい森」には、「湿生植物園」として、貴重な湿地帯が残されており、湧水湿地（鉱質土壤型湿原）に特有な動植物を含め、多種多様な生物が見られます。

しかし、近年は湿原周囲の植生変化や湿地内の乾燥化などに加え、人為的に植え込まれたと考えられる外来植物の増加も問題となっており、貴重な在来湿原生態系の劣化が危惧される状況となっています。

重井薬用植物園では、倉敷市など行政、市民ボランティアなどと協力し、湿地の保全活動、外来植物の駆除活動などを年3回程度実施しています。

主な活動主体	重井薬用植物園
保護動植物の位置付け	トウカイコモウセンゴケ（岡山県版レッドリスト2025：準絶滅危惧） サギソウ（環境省第5次レッドリスト：準絶滅危惧／岡山県版レッドリスト2025：絶滅危惧Ⅱ類） など

活動状況（写真提供：倉敷市）

（写真掲載）

